カクテルの街 守

資金支援呼び掛けC

クラウドファンディングについて会員店舗のバーテンダーと打ち合わせする武内代表（左）

クラウドファンディングのサイトに掲載された画像

負けない 新型コロナ

出した。新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛に加え、多くのバーが再開した県の緊急事態宣言解除後も、夜の街に人は戻らず、存続の危機が続く。武内博代表（47）は「宇都宮のカクテル文化を守りたい。どうか力を貸してください」と訴える。

（小林睦美）

取り組みは16日から、クラウドファンディングサイト「キャンプファイヤー」で始まった。

支援先は「全店舗」「指定店舗」「カクテル倶楽部」の3種類あり、各3千～10万円のコースを設定。7月1日から12月31日まで会員の店で使える飲食クーポンを返礼品にした。「全店舗」「指定店舗」の場合、クーポンは支援額の110％分。5千円の支援なら5500円分のクーポンとなる。上乗せした10％分は店側が負担する仕組みだ。

武内代表幹事は「もうけるためではなく、収束後、バーに足を運ぼうという気持ちになってもらうため」と説明する。

支援先が「カクテル倶楽部」では返礼品のない3千円コースを除き、支援額の33％分のクーポンが付く。取り組みには21日現在、約120人から約140万円

真岡市

検査センター28日開設

週6日、1日最大10人対応

【真岡】新型コロナウイルスのPCR検査体制の整備を進めてきた市は28日、「市地域外来・検査センター」を市内に開設する。県から運営を受託し、車で訪の診察で検査が必要とされた患者に限定し、完全予約制とする。検体採取は月曜から土曜の午後で1日の対応人数は最大10人の予定。約30人の医師が交代で行う。看護師などが補助員を務めるほか、1市4町の職員が患者の本人確認や車の誘導などに携わる。

検体は県東保健所の職員が県の検査機関に搬送し、陽性または陰性の結果は検査センターが患者に伝える。

開設期間は8月27日まで

（茂木信幸）

緊急在学奨学金 市が利用者募る

【下野】市は、新型コロナウイルスの影響などで経済的に修学が困難になった学生らを対象に、市緊急在学奨学金制度の利用者を募集している。2021年2月26日まで。

貸付金は無利子で、高校生月額2万円、大学、専門学校生月額3万円、4万円、5万円の3種類。本年度に限り、返還不要の支援金5万円も給付する。

対象は保護者が1年以上市内に在住し、死亡、失職などにより家計が急変した学生、生徒。募集開始は例年6月ごろだが、本年度は新型コロナの影響による困窮も懸念されることから、前倒しした。

市教育総務課☎0285・32・8917。

議員席間に設けられた仕切り

議員席にも仕切り

さくら市議会

【さくら】新型コロナウイルス対策の一環として市議会は21日、同日開催の市議員全員協議会から、議場の市議席卓上に仕切りを設置した。

仕切りは縦70㌢、横100㌢。議会事務局の職員が18日、中央部が空いた2枚の段ボール間にビニールシートを挟み込んで接着し、13個を製作した。その後、市議席卓上に粘着テープで固定し、取り外し可能なものとした。

6月定例市議会は、一般質問を行わず短縮日程で実施する。仕切りの設置は6月5日の閉会日までになる予定。石岡祐二議長は「執行部には既に、（議場への）人数制限や席の間隔を空けてもらっている。議員は特に席の間隔が近いので、対策を講じた」と話した。

（文・写真　野上裕之）